

## 編集後記

なんとなく色々な学会に所属したままになっているため、比較的多くの学会誌に目を通しますが、正直なところ本学会誌が一番読み応えがあると思っています。これは、編集委員になる以前からの感想でした。いざ編集委員になってみると、確かに学会誌は熱心な編集委員会のボランティア的活動によって支えられていることを実感しました。委員は自分が担当する分野の記事の提案書を作成し、他分野の委員に説明すること。これは想像以上に難しい作業で、他分野の委員の先生方は、知らないことは遠慮なく率直に質問してきますので、自分の担当分野といえどもあまり縁のない研究の説明には言葉が詰まります。次回の委員会までに勉強し、再度企画提案を行うことを繰り返すと、著者にどのような点に気をつけて執筆してもらえると良い記事になるかが理解できるようになります。(厳しい議論もありますので、原則として議事録は発言者名を伏せています。)このようなプロセスが学会誌の質を維持しているのでしょうか。会員の皆様には、このような背景を知った上で学会誌を読んでいただければ幸いです。

ところで、テレビ会議システムが一般に市販されるようになってからかなり時間がたっていますが、普及は限定的だなどと思っていました。しかし、最近の不況下で出張を手

控える企業が多くなったそうで、これを契機に普及するのかもしれませんが。私は、遠隔地でどのように見られているのか良くわからないのでテレビ会議の利用には抵抗がありますが、編集委員会もテレビ会議で置き換えたらどうなるのでしょうか。相手の気心を知っている者同士でしたら、テレビ会議でもいいのかもしれませんが、委員会のときしか会わない人に、テレビ越しに「門外漢なので教えてほしいのですが。」とか、相手の顔色を伺いながら突っ込みを入れるのは躊躇します。旅費は実費のみ支給(とはいっても実質赤字)の委員会に多くの委員が足を運んでいる現状では、誰もテレビ会議で置き換えられるとは考えていないと思いますが、最近のデジタル放送の木目細かな映像を見ると、通信回線さえ太くなれば、そのうち事務局のKさんからメールが来て、「学会誌赤字のため、今月はテレビ編集会議にしま〜す」、なんて時代になってしまうのかもしれませんが。今の事務局には先立つモノがありませんのでまったく心配していませんが、もしもそうなると学会誌の内容・質も変化するかもしれません。個人的には、編集委員会の帰りに(以前新聞沙汰になった)伊勢名物を買って帰るささやかな楽しみがなくなることが一番痛いかもかもしれません(大阪でも普通に入手できますが、なぜか名古屋で)。

(長友英夫)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	松田慎三郎	副 会 長	三間 園興	本島 修	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 (企画委員長)		板垣 正文		伊藤 早苗	
	今井 剛 (広告委員長)		奥野 健二		加藤 敬 (財務委員長)	
	近藤 光昇		笹尾真実子		佐野 史道 (出版委員長)	
	寺井 隆幸 (編集委員長)		畑山 明聖 (広報委員長)		浜口 智志 (プログラム委員長)	
	林 康明		森 雅博			
監 事	飯尾 俊二		松尾 慶一			

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 寺井隆幸 (東大)

エディター 関子秀樹(九大), 田中雅慶(九大), 福山 淳(京大), 村上匡且(阪大), 室賀健夫(核融合研), 行村 建(同志社大)

編集委員 石島達夫(名大プラズマナノ), 伊藤清一(広島大), 打田正樹(京大エネ科), 江原真司(九大総合理工), 大谷寛明(核融合研), 大矢恭久(静大理工), 菊池祐介(兵庫県立大), 栗本祐司(シャープ), 後藤基志(核融合研), 齋藤和史(宇都宮大), 酒井 道(京大院工), 榎原 悟(核融合研), 坂本隆一(核融合研), 佐藤 聡(原子力機構), 佐藤杉弥(日本工業大工), 田中照也(核融合研), 田中康規(金沢大), 長友英夫(阪大レーザー研), 浪平隆男(熊大院自然), 畠山賢彦(東北大金研), 花田和明(九大応力研), 濱口真司(核融合研), 林 伸彦(原子力機構), 平田孝道(武蔵工大工), 森 道昭(原子力機構関西), 吉川正志(筑波大院数理), 吉田弘樹(岐阜大工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第85巻第3号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階  
社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会  
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

印刷 株式会社荒川印刷  
2009年(平成21年)3月25日

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。